

2024 年 2 月 26 日

リコーリース株式会社

〈コード番号:8566 東証プライム市場〉

3 行協調型サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

リコーリース株式会社(以下、当社)は、2022 年 12 月に策定した資金調達の枠組みであるサステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク(※1)(以下、本フレームワーク)を活用し、「TSUBASA アライアンス(※2)」に参加の株式会社千葉銀行(取締役頭取 米本 努)、株式会社中国銀行(取締役頭取 加藤 貞則)、株式会社滋賀銀行(取締役頭取 久保田 真也)との間で、「サステナビリティ・リンク・ローン」の協調融資契約(以下、本件)を締結し、資金調達を本日実行しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、経営理念を最上位概念として、サステナビリティに対する考え方のもと、マテリアリティへの取り組みを通じ、サステナビリティ経営を推進しています。取り組みの中で当社は「クリーンな地球環境をつくる」をマテリアリティの一つとし、再生可能エネルギーの普及など事業を通じて、脱炭素社会の実現を目指しております。さらに、脱炭素への取り組みを加速させるため、スコープ 1,2 ネットゼロ目標を 2050 年から 2030 年に前倒しすることを昨年決定しております。

本件では、本フレームワークに基づき、「CDP(※3)気候変動スコアの維持」を SPTs(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)として設定しました。なお、当社が策定した本フレームワークの適合性および SPTs の適切性については、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオン(※4)を取得しております。

当社グループは、今後もサステナビリティへの取り組みをより一層強化し、企業価値の向上に努めてまいります。

＜本ローンの概要＞

借 入 実 行 日	2024 年 2 月 26 日
借 入 金 融 機 関	千葉銀行、中国銀行、滋賀銀行
S P T s の 設 定 内 容	CDP 気候変動スコアにおいて、リーダーシップレベル(A、A-)を維持する
セカンドオピニオン	株式会社格付投資情報センター(R&I)

(※1) 本フレームワークの詳細は、以下をご参照ください。

https://www.r-lease.co.jp/assets/docs/sustainability_link_finance_framework.pdf

(※2) TSUBASA アライアンス

千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10地銀が参加する広域連携の枠組みです。

(※3) CDP

世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表している NGO です。評価は、A、A-（リーダーシップレベル）、B、B-（マネジメントレベル）、C、C-（認識レベル）、D、D-（情報開示レベル）の8段階で付与されます。当社の2024年2月時点のCDP気候変動スコアは上位から2番目のA-です。

(※4) R&I のウェブサイトをご参照ください。<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@rle.ricoh.co.jp